

## Air Rush Elite CO<sub>2</sub> Inflator

インフレーターを安全に使用するためにも、まず、このマニュアル全てに目を通しましょう。

ボントラゲアのCO<sub>2</sub>ねじ切りカートリッジをお使いください。2ページの『安全に関して』をお読みください。

この製品は、プレスタとシュレーダーバルブの両方に適合します。

### 警告

カートリッジは加圧されています。圧力が急に解放されることで、重大な怪我や死亡が生じる恐れがあります。2ページの『安全に関して』に必ず従ってください。

### 部品リスト

- インフレーター
- CO<sub>2</sub>カートリッジ1本



### タイヤに空気を入れるには

1. カートリッジをインフレーターの奥までねじ込みます。

**注意:**途中で手を止めず、一回で奥までねじ込んでください。カートリッジをねじ込んでいくと、インフレーターのピンでカートリッジに穴が空きます。CO<sub>2</sub>の中には、奥までねじ込む前に中身が漏れ出すものもあります。



2. バルブシステムからバルブキャップを取り外します。

3. **プレスタバルブの場合:** バルブシステムの上部にあるバルブを完全に開いてください。

4. 親指でタイヤを押さえ、バルブシステムをリムから突き出させます。

5. もう片方の手で、インフレーターをバルブシステムに押し込みます。

6. CO<sub>2</sub>を注入するには、インフレーターをリムに向かって押し込みます。

**注意:**タイヤに急激に空気を送らないようにしましょう。タイヤのビードがリムに正しくはまっていることを確認しましょう。



チューブが膨らみ出したら、タイヤを掴んでいる手を離します。

7. タイヤの側面に記載される推奨空気圧に従いましょう。

8. CO<sub>2</sub>の注入を止めるには、インフレーターをバルブシステムから外します。

**警告:** CO<sub>2</sub>がカートリッジから流出すると、非常に低温になり、肌に凍傷を負う場合があります。

9. **プレスタバルブの場合:** バルブシステムの上部にあるバルブを閉じます。

10. バルブシステムの上にバルブキャップを被せます。

### 安全に関して

CO<sub>2</sub>カートリッジには、CO<sub>2</sub> (二酸化炭素)が高圧で充填されています。CO<sub>2</sub>を過度に体内に取り込むと、死に至る場合があります。カートリッジに穴が空いている、または中身が勢いよく流出していると、カートリッジは爆発または吹き飛び(宙を舞う)、重大な怪我や死亡を引き起こす恐れがあります。

以下の手順に従い、カートリッジの穴空きや爆発、さらにはCO<sub>2</sub>ガスの過度の取り込みを防ぎましょう:

#### カートリッジを正しく扱い、廃棄すること。

- CO<sub>2</sub>カートリッジには絶対に穴を空けないでください。
- CO<sub>2</sub>カートリッジを120°F (49°C)以上の熱から離して保管してください。閉め切った車内や直射日光では、これより高い気温に達することがあります。加熱すると、カートリッジが破裂する恐れがあります。焼却処分しないでください。
- CO<sub>2</sub>カートリッジが完全に空になるまで、Air Rushのヘッドからカートリッジを完全に外さないでください。CO<sub>2</sub>がまだ残っている状態でAir RushのヘッドをCO<sub>2</sub>カートリッジから取り外すと、カートリッジが吹き飛び恐れがあります。CO<sub>2</sub>がまだ残っている状態でカートリッジを絶対に廃棄しないでください。
- カートリッジに残ったCO<sub>2</sub>を排出させるには、中身が空になるまでAir Rushのヘッドを押ししてください。

#### 正常な状態にある、適合するカートリッジのみを使用すること。

- 使い捨てカートリッジの補填は絶対にしないでください。
- カートリッジに不具合または損傷が実際にある、またはその恐れがある場合、カートリッジの使用をやめ、適切に廃棄してください。
- ボントラゲアのカートリッジのみを使用してください。異なるサイズや種類のカートリッジは使用しないでください。適合しないカートリッジを取り付けようとすると、カートリッジが吹き飛び恐れがあります。

#### CO<sub>2</sub>に触れないようにすること。

- CO<sub>2</sub>がカートリッジから流出すると、非常に低音になり、肌に凍傷を負う場合があります。
- インフレーターを顔や体、または他の人に向けて放出させないでください。
- CO<sub>2</sub>を吸い込まないでください。
- カートリッジとAir Rushをお子さんの手の届かない場所に保管してください。